

## 言語・文学委員会人文学の国際化と日本語分科会（第24期・第6回）議事録

開催日時：2020年2月11日（火、祝）13時～16時

場所：東京大学文学部3号館7階スラヴ演習室

出席者：窪菌晴夫、竹本幹夫、田口紀子、巽孝之、沼野充義、日比谷潤子、平田昌司、松森晶子、吉田和彦、

欠席者：桑原聡、米田信子

### 議題

#### (1) 前回議事録の確認

- ・2019年7月7日の本分科会の議事録を確認した。

#### (2) 次年度提言案をまとめるにあたっての基本的な申合せ事項

- ・今期（第24期）は2020年9月末に終了し、10月からは来期（第25期）が始まる。メンバーの変更・追加の可能性があるが、来期へ継続する前提で検討を進める。
- ・今期のうちできるだけ作業を行い来期に引き継ぎ、2020年末までに提言案を完成する方向で進める。

#### (3) ワーキンググループの設置について

- ・7月に予定しているシンポジウムの概要が決まった後に、メール審議でワーキンググループのメンバーを決定する。場合によってはSkype等での会議も検討する。

#### (4) 提言案の項目の検討

提言案の項目や見出し（題目）については今後検討していくことにする。主な意見は以下の通り（発言順）。

- ・「英語で発信する環境作りを行うこと」と「日本語の役割（重要性）を高めること」を2つの軸として具体的な政策提言をまとめる必要がある。
- ・外国人の研究者が日本語で発表できる環境・制度作りも重要。
- ・皆で分担して現状分析が必要。
- ・「人文学の国際化」を論じるにあたり「人文学」の範囲を明確にする必要がある。  
→「言語・文学」の範囲でいいのではないか。
- ・海外の研究者は日本の研究成果にアクセスしづらい現状があるので、研究成果を世界中の研究者と共有できる仕組み作り（共通のプラットフォーム）が必要。
- ・日本の研究を海外に発信するにあたっては文献目録だけでは不十分であり、概要まで含めてレビューする仕組み・データベースが必要（例：研究社の『英語年鑑』、アメリカのMLAなど）。
- ・国立情報学研究所が運営しているCiNiiをもっと活用してはどうか。
- ・平成30年9月の第3回分科会にお招きした西村清和先生の提唱された、研究成果の公刊（たとえば故人の日本語業績の英訳公開）については著作権の問題も検討する必要

がある。なお日本の人文系学術雑誌掲載論文等のPDF化と無償公開については、海外の日本研究者の要望はあるものの、法制度の見直しを含めた国内の準備が十分ではなく、分野ごとに足並みも不揃いで課題が残る。

(5) 公開シンポジウムの検討

- ・提言をまとめるにあたり広範囲な意見を集める必要がある。そのために今年7月に公開シンポジウムを開催する。
- ・日時や会場、当日午前中に予定する分科会への参考人（午後まで参加予定）招致に関わる旅費・謝金等については竹本委員が日本学術会議に問い合わせる。
- ・公開シンポジウムの詳細は別紙の通り。

(6) 作業日程案

- ・以下のスケジュールで検討を進め、2021年4月の提言提出を目指す。

2020年7月18（土）または19日（日）公開シンポジウム

～12月末 提言の草案を作成、言語・文学委員会へ提出

2021年1～3月 言語・文学委員会で検討、必要に応じて提言案を修正

4月 提言を幹事会へ提出

(7) その他

- ・次回の分科会は2020年5月9日（土）午後2～5時、慶應義塾大学三田校舎東館8階小会議室で開催する。提言の内容と7月のシンポジウム（別紙）の詳細を主な議題とする。
- ・次々回の分科会は2020年7月（シンポジウムと同日）の午前（時間未定）に、日本学術会議会議室で開催する。

〔別紙〕

シンポジウム「人文学の国際化と日本語」概要

主催：日本学術会議

共催：国立国語研究所（予定）＋α

日時：2020年7月18（土）または19日（日）午後1時～6時

会場：日本学術会議大講堂

プログラム案（\*は学術会議委員または連携委員、セッションの順序は未定）

1. セッション1（言語学）15分×4人＋パネルディスカッション30分

司会候補：吉田和彦\*（京都産業大学教授）

講師候補：Bjarke Frellesvig（オックスフォード大学教授：日本語史）

または John Whitman（コーネル大学教授：日本語史）

金水敏（大阪大学教授、日本語学会会長：日本語学、日本語史）

窪菌晴夫\*（国立国語研究所教授：言語学）

XXXX（ドイツ語学、フランス語学、中国語学などの専門家、できれば女性）

2. セッション2（文学）15分×4人＋パネルディスカッション30分

司会候補：竹本幹夫\*（早稲田大学教授）

講師候補：マイケル・エメリック（UCLA 准教授）

ロバート・キャンベル（国文学研究資料館館長）

アンヌ・バヤール＝坂井（フランス国立東洋言語文化大学教授）

依田富子（ハーバード大学教授）

ハルオ・シラネ（コロンビア大学教授）

巽孝之\*（慶應義塾大学教授）

沼野充義\*（東京大学教授）

3. セッション3（共通テーマ）

15分×4人＋パネルディスカッション30分 あるいは全体討議

講師候補：学術会議の会員・連携会員（他領域）

国立情報学研究所（CiNii 担当者？）